

2014年11月12日

抗菌・抗ウイルス機能を持つ植物工場用断熱パネルを発売

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）は、抗菌・抗ウイルス機能を持つ光触媒ルミレッシュュ®を使用した植物工場向け断熱パネルを開発し、販売を開始します。

ルミレッシュュ®は、当社の連結子会社昭和電工セラミックス株式会社（長野県塩尻市 社長：牧 昌和）富山工場（富山県富山市）において開発した高機能光触媒で、光エネルギーによる反応で空気中の水分と酸素から活性酸素を発生させ、表面上に付着した菌やウイルスを不活化させます。従来の光触媒が太陽光などに含まれる紫外光に反応するのに対し、ルミレッシュュ®は蛍光灯やLEDなどの屋内光にも効果を発揮します。

ルミレッシュュ®は、すでに空港や病院などの公共施設で実証試験が進められている他、内装用膜材やカーテンへの採用が決定しています。今回、ルミレッシュュ®を含有した塗料の開発に日本曹達株式会社（社長：杵渕 裕）が成功したことから、断熱パネルなどの金属資材への塗付が可能になりました。

完全閉鎖型の植物工場では、外部からの菌や害虫の侵入を防ぐために天井や壁を断熱パネルで覆いますが、ルミレッシュュ®をパネル表面に塗付することで、空気中の菌やウイルスをさらに減少させることができ、野菜の鮮度をより長持ちさせる効果があります。

本断熱パネルは植物工場システムとして、高速栽培技術 SHIGYO®法と LED 照明、アルミニウム製栽培ユニットとあわせ、11月12日から11月14日に東京ビッグサイトで開催される「アグロイノベーション2014」で紹介いたします。

当社グループは引き続き製品性能の向上に努め、人々の健康で、安心・安全な生活に貢献してまいります。

以上



「ルミレッシュュ®」を表面に塗布した断熱パネル



昭和電工グループの高機能光触媒「ルミレッシュュ®」

◆ 本件に関するお問合せ先：昭和電工（株）広報室 03-5470-3235